

取扱説明書



ドラム缶リフター

注文コード:27503964

このたびは、「ドラム缶リフター」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用前に本書を必ずお読みのうえ、正しく安全にご使用ください。
また、いつでも取り出せる場所に必ず保管してください。

安全にお使いいただくために

ここに書かれた注意事項は、人体への危害や財産への損害を未然に防止するための内容です。
いずれも安全にお使いいただくためには重要ですので、必ずお守りください。

警告 この表示内容を無視して誤った使い方をした場合は、
死亡や重傷などの重大な傷害に結びつく可能性があります。

注意 この表示内容を無視して誤った使い方をした場合は人的傷害や製品の破損、
その他の物的損害へつながる可能性があります。

組立時・ご使用上の注意

【はじめに】

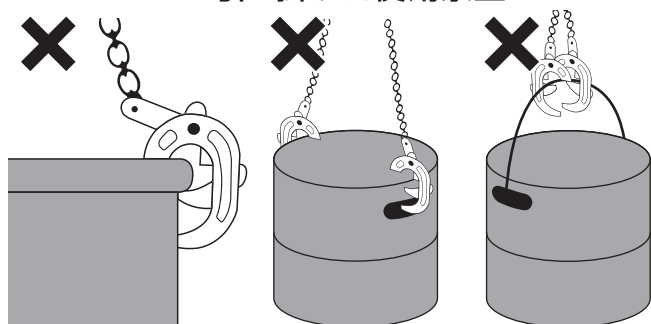
誤った使用方法により人的傷害や製品の破損、その他の物的損害が生じた場合、製造者および販売者は
一切の補償、責任を負いません。また、本製品の分解や改造は、絶対に行わないでください。

●本製品の基本使用荷重は、一本掛け約500kg、二本掛け約1000kgです。必ずお守りください。
基本使用荷重を超えるつり荷での使用や、複数のつり荷を同時につり上げることは絶対にしないでください。

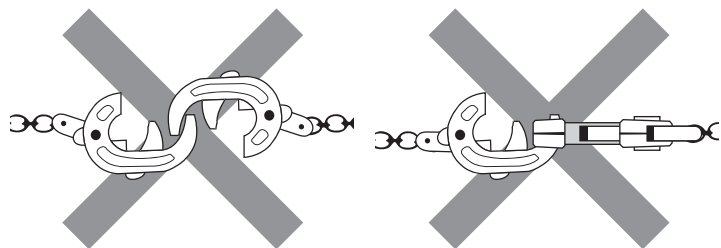
警告

- 本製品はドラム缶の運搬荷役つり上げ作業を目的に作られています。それ以外の使用用途を想定していません。
本来の使用用途以外や、乱暴な取扱い方をすると、けがや故障、破損につながるおそれがありますので絶対にしないでください。
- 使用場所は常に整理整頓し、障害になる物は置かないでください。けがをする原因になります。
- けがを防止するために作業手袋、作業着、安全帽(ヘルメット)、安全靴などの安全保護具を着用してください。
- 本製品使用の際、全身にゆとりのある衣服やネックレスなど装飾品の着用は、引っ掛ったり、巻込んだり
などして思わぬ事故やけがの原因となり危険です。また、頭髮が巻込まれないようにしてください。
- 可動部、摺動部に手や指を入れないでください。けがをする原因になります。
- 使用者以外は使用場所に近づけないでください。特にお子様にご注意ください。けがをする原因になります。
- 本体の先端部につり荷を引っ掛けて使用しないでください。つり荷が落下するなどして思わぬ事故の原因になります。
- ドラム缶の切断部や缶縁がないものに使用しないでください。缶縁がないと確実にクランプできず、
落下するなどして大変危険です。
- チェーンがねじれたり、もつれたりしたままの使用や、長さを変更して使用しないでください。
チェーンの耐久性低下や、切れるなどしてつり荷が落下し、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- つり荷が確実にクランプされていることを必ず確認してください。確実にクランプされていないと、
つり荷の落下につながり大変危険です。
- 縦つり、横つり作業時に均等でない位置でつり上げると、つり荷が不安定になり、落下するなどして大変危険です。
- 本製品をつり荷に巻付けて本体同士をクランプし、つり上げないでください。
チョーク吊り、つり荷の落下につながり大変危険です。
- クレーンなど1台のフックに本製品を2セット以上使用しないでください。
つり荷がぶつかり、落下するなどして大変危険です。
- クレーン使用時に小刻みな操作や、急逆転操作をしないでください。また、本製品を用いてフォークリフトで
つり荷を移動させたり、つり上げたりしないでください。つり荷が揺れて落下するなど、思わぬ事故の原因になります。

<引っ掛けた使用禁止>

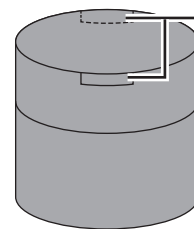


<本体同士をクランプさせた使用禁止>



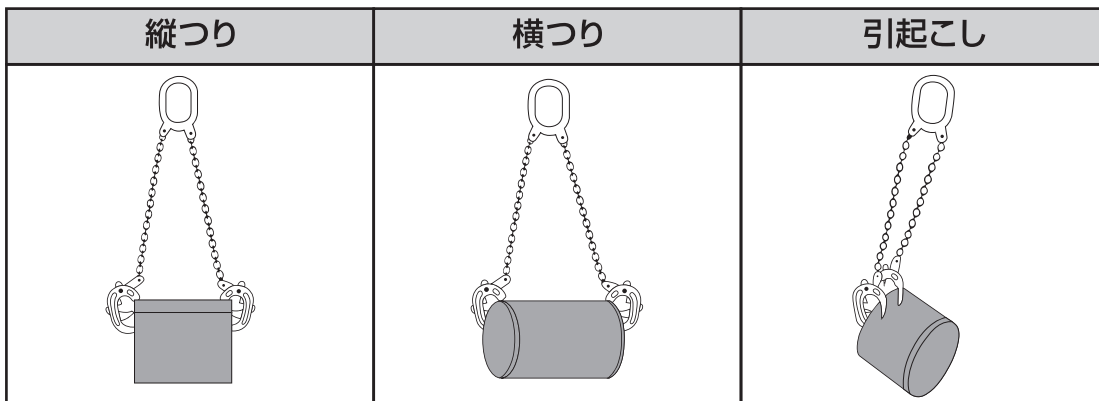
⚠ 注意

- 本製品の使用前には必ず、各部に傷、損傷、破損がないか確認してください。
- つり荷には必ず缶縁があることを確認してください。
無い場合は、右図を参考に作成してください。ドラム缶などの中腹部を切断しているものは缶縁を溶接、またはボルトで固定し作成してください。
- つり荷のクランプは下図のように必ず正しい方向で取付けてください。
誤った取付けを行うと、本体の破損やチェーン切れなどを起こす原因になります。

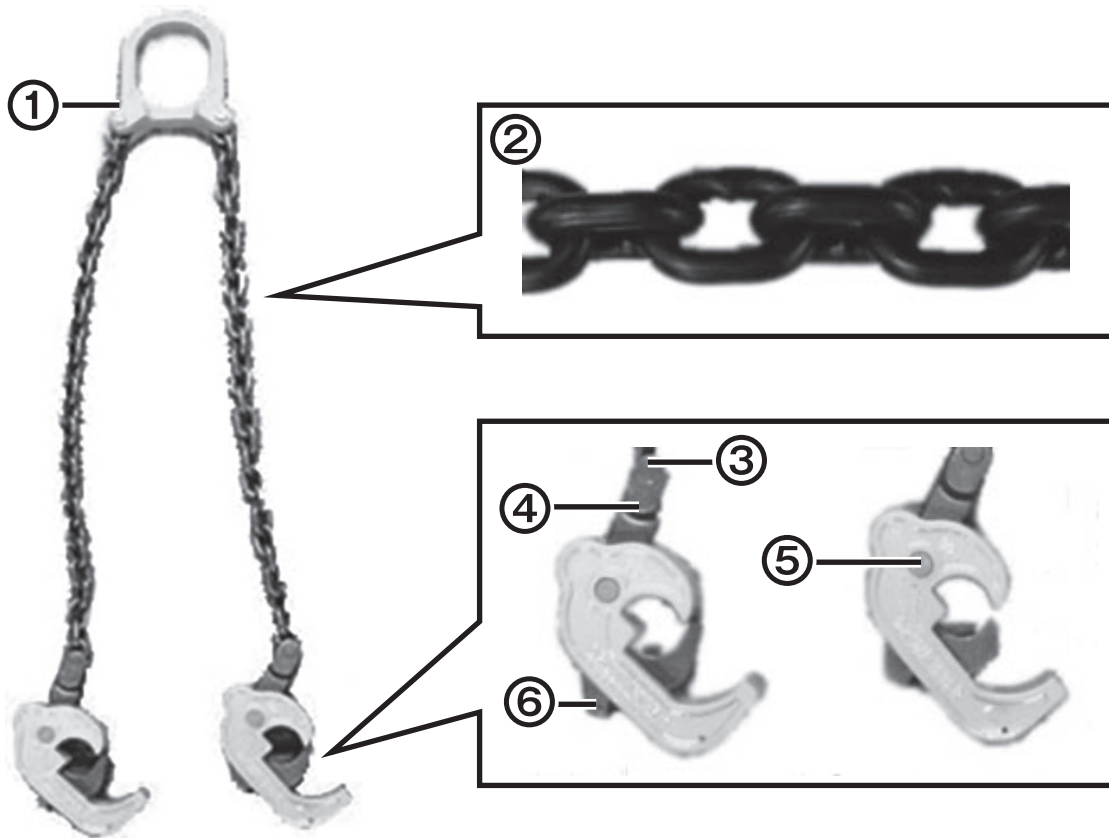


缶縁(作成)
●厚さ×幅×長さ(mm)
3~5×20×80
溶接またはボルトで固定

■ クランプ方法一覧



2 各部の名称



■ 名称一覧

①	マスターリンク
②	チェーン
③	チェーン留めピン
④	スプリングピン
⑤	グリップ本体
⑥	グリップツメ

■ 仕様一覧

材質(チェーン)	機械構造用炭素鋼
材質(マスターリンク・グリップ)	機械構造用クロム鋼
基本使用荷重(t)	(一本掛吊)0.5、(二本掛吊)1.0
チェーンサイズ(線径mm×長さLmm)	6×18
ロードチェーン等級	80
質量(kg)	3.6

※上記の仕様は、予告なしに変更することがあります

③ 使いかた

1. ツメを開く

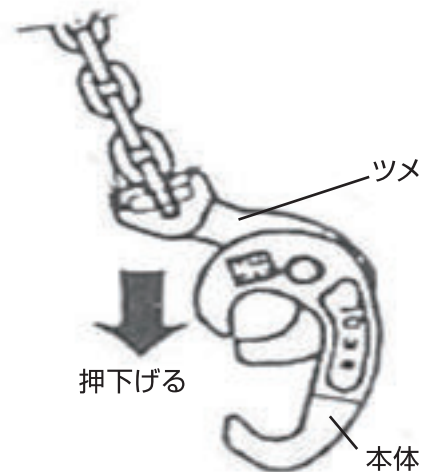
● ツメを矢印の方向に押下げます。

2. つり荷をクランプする

● ツメを下げたまま本体を缶縁に入れてツメを離すと自動でクランプします。
 ※クランプが正しく保持されているか、またつり荷のバランスは良いか確認し、
 つり上げてください。

3. つり荷から本体を外す

● つり荷を降ろし、荷重が掛からない状態で、ツメを矢印の方向に押下げます。
 ● ツメを押下げたまま、本体を缶縁から取外してください。



■ 保管および点検について

● 日常点検・定期点検を実施してください。下記の点検内容から異常を発見した場合は、絶対に使用せず、すみやかに部品交換を行ってください。

項目	検査内容	方法	図	廃棄基準	処置
チェーン 止めピン	摩耗	測定		標準寸法：d：Φ7mm 使用限度寸法：摩耗は標準寸法より5%超えた場合	交換する
	曲がり	目視		曲がりは、1.5%を超えた場合	
本体	穴の摩耗	測定		標準寸法：7.2mm 使用限度寸法：摩耗は標準寸法5%を超えた場合	廃棄
	本体の口の開き	目視測定		標準寸法：D：39mm 使用限度寸法：変形は≥2mmの場合、使用中止	
	危険断面腐食摩耗	目視測定		100mmにつき標準寸法に 対しての変化は5%を超えた場合	
	変形	目視		曲がりおよびねじれが起きた場合	
チェーン	直径摩耗	目視測定		標準寸法：直径 (d)：6mm 使用限度寸法：≤5.4mm	交換する
	5ケリンク伸び	目視測定		標準寸法：L：90mm 使用限度寸法：≥92.5mm	
マスター リンク	リンクの曲がり	目視測定		曲がり>10° 以上になった場合	交換する
	リンクのねじれ	目視		ねじれが起きた場合	交換する
	丸環部の 伸びおよび摩耗	目視測定		標準寸法：A：87mm 使用限度寸法：≥91mm (摩耗は標準寸法より5%超えた場合)	
リンクの変形	目視測定	標準寸法：B：13mm 使用限度寸法：>2mm			